

渡辺復興大臣の千葉県訪問ぶら下がり会見録
(平成30年12月20日(木) 13:54～14:00 於) 千葉県旭市)

1. 発言要旨

本日は、東日本大震災によって大きな被害を受けました浦安市及びここ旭市を訪問し、復興大臣就任の御挨拶並びに現地の視察を行ったところでございます。

浦安市では内田市長とお会いし、液状化被害の状況等についてお話を伺うとともに、液状化が起きた現場を視察してまいりました。

また、旭市においては、明智市長から津波被害の状況や復興の取組等についてお話を伺うとともに、この防災資料館で当時の被害映像やパネルを見せていただいたところです。そして、戸井館長からお話を伺ったところでございます。

視察を通じて、大震災が千葉県にもたらした被害に改めて思いをいたしておりますが、同時に、私が発災直後に両市を訪問したときに比べて、当時の悲惨な状況に比べて、今は力強く復興がなされているというふうに感じました。自治体や地域住民の御尽力に心から感謝を申し上げたい、そのように思います。

引き続き、現場主義のもと、現地に足を運び、一日も早い復興の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 今のお話にもあったのですが、今日は浦安と旭を通じて、被災地を再び見てみて、感想といいますか、率直に思ったことってどんなことですか。

(答) まず、浦安について。現地で液状化の状況の現場を見てまいりましたがけれども、今回見た現場の中には、道路がうねっている状態がまだ残っている、復旧がまだ終わっていないということも実感したわけでありますので、この点についてはしっかりと復旧を進めていただきたい、そのためのバックアップをしていきたいというふうに思います。

また、この旭市においては、当時も、私は、訪問させていただきました。被災された皆さん方の地域を見て回ってきたわけでありますがけれども、今はその状況は大分変わっておりまして、もう普通の生活に戻っているように感じ取られたわけであります。市長からは、これからの避難道路、この問題について、まだまだ時間がかかりそうだというお話がございました。この点についても、今後、市長の要望等もございまして、しっかりと検討をしていきたいと。2020年度までにはしっかりと成し遂げていく、こ

れが私の今回、現地に訪問しての感想でありますし、決意でもあります。

(問) 今、今後についても、ちょっと触れていただいているんですが、改めて今後、二市に期待することとか、どんなことを今後やっていきたいかということをお教えください。

(答) まずは自然災害でありますから、いつ何時、災害が起こるかもしれない、そのときに、地域の皆さん方、住民の皆さん方が、安心して生活できる環境をしっかりと作っていただきたいというふうに思いますし、そのためにできるものは、しっかりと応援をしていきたい、そのように思っております。

(以 上)